

# 平成28年度 大阪大谷大学生の 学生生活実態調査

大阪大谷大学 学生委員会

多様化する学生生活の実態を把握し分析することは、学生サービスの更なる充実につながるのみならず、大学の自己点検・自己評価の指針としても重要である。

そこで、本学は学生生活実態調査を実施した。調査時における本学の在校生数は、3043人で、有効回答数は2503であり、全在校生を母集団とする本件に準じる悉皆調査としては、回収率82.3%はかなり高いものであると考えられる。この要因は調査方法と回収方法及びアンケートの設問の設定に起因するものであろう。

今回の結果を分析し更なる学生サービスの向上をはかると共に、分析結果から見えるさまざまな問題点について、短期的かつ長期的な観点から改善を試みる。また、今回の形式や項目を踏まえつつ調査を継続的に行い、更なる実態把握と改善をはかりたい。

## ■調査の概要

- 調査期間：平成28年9月～12月
- 調査方法：主としてゼミナール時の冒頭において出席者に用紙を配布し、記入後回収
- 調査対象：全学部生
- 有効回答者数：2503人(回答率82.3%)
- 分析表示：設問の回答結果を視覚的に把握できるよう、択一式の設問は円グラフにより分布割合を表示した。また、複数回答が可能な設問は棒グラフにより傾向を示した。

## 1. あなた自身について

学科  
学年  
性別

## 2. 学業について

入学の目的  
つけたい力  
自習する場所

## 3. 課外活動について

所属クラブなど  
不参加の理由

## 4. ボランティアについて

関心  
活動  
きっかけ  
今後

## 5. 通学について

通学区分  
通学手段  
通学時間  
スクールバス利用

## 6. 経済生活について

学費納入手段  
アルバイトの必要性  
1週間のアルバイト時間

## 7. 食生活について

食堂の運営  
朝食  
食堂の利用  
食生活

## 8. 個人ロッカーについて

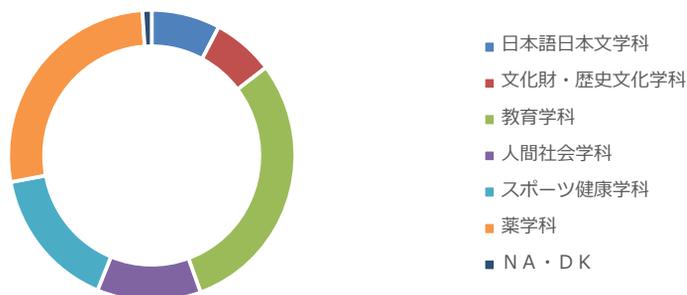
使用と利用

## 9. 健康状態や悩みについて

健康状態と悩み  
体調管理  
睡眠  
悩み  
相談相手

# 1 あなた自身について

## 学科



### 1-1 学科

|   |            |       |        |
|---|------------|-------|--------|
| 1 | 日本語日本文学科   | 194   | 7.8%   |
| 2 | 文化財・歴史文化学科 | 173   | 6.9%   |
| 3 | 教育学科       | 746   | 29.8%  |
| 4 | 人間社会学科     | 293   | 11.7%  |
| 5 | スポーツ健康学科   | 398   | 15.9%  |
| 6 | 薬学科        | 673   | 26.9%  |
| 7 | NA・DK      | 26    | 1.0%   |
|   | 合計         | 2,503 | 100.0% |

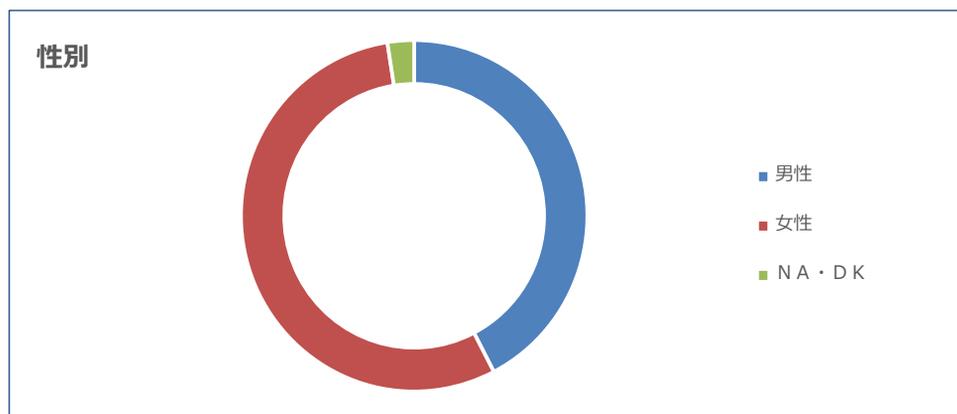
## 学年



### 1-2 学年

|   |       |       |        |
|---|-------|-------|--------|
| 1 | 1年生   | 620   | 24.8%  |
| 2 | 2年生   | 633   | 25.3%  |
| 3 | 3年生   | 582   | 23.3%  |
| 4 | 4年生   | 475   | 19.0%  |
| 5 | 5年生   | 78    | 3.1%   |
| 6 | 6年生   | 87    | 3.5%   |
| 7 | NA・DK | 28    | 1.1%   |
|   | 合計    | 2,503 | 100.0% |

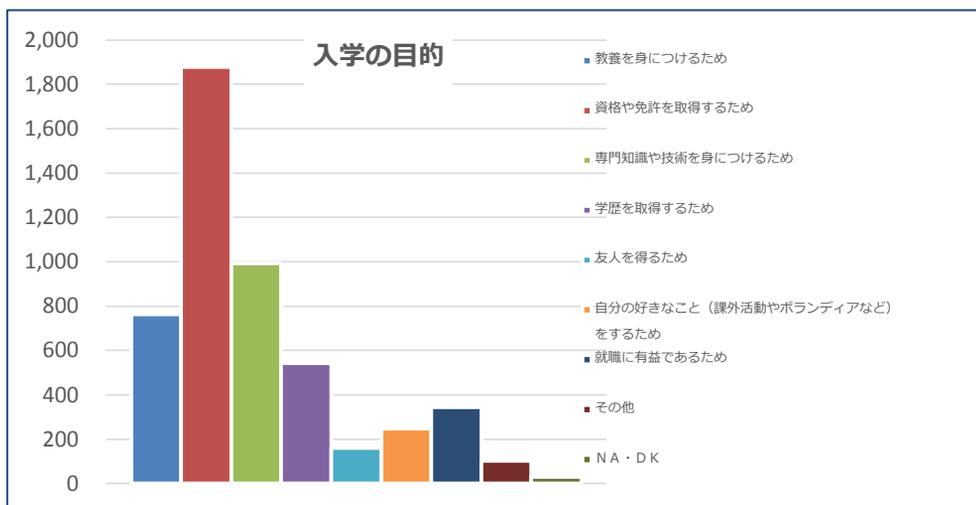
## 1 あなた自身について



### 1-3 性別

|   |       |       |        |
|---|-------|-------|--------|
| 1 | 男性    | 1,061 | 42.4%  |
| 2 | 女性    | 1,380 | 55.1%  |
| 3 | NA・DK | 62    | 2.5%   |
|   | 合計    | 2,503 | 100.0% |

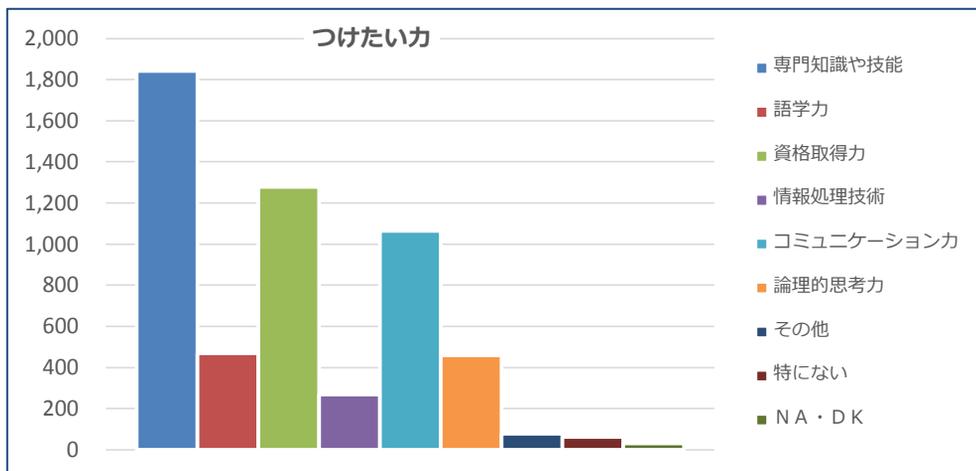
学科・学年・性別に関するフェース項目に関しては順当な数値を示している。



## 2-1 入学の目的(複)

|   |                              |       |       |
|---|------------------------------|-------|-------|
| 1 | 教養を身につけるため                   | 762   | 30.4% |
| 2 | 資格や免許を取得するため                 | 1,878 | 75.0% |
| 3 | 専門知識や技術を身につけるため              | 992   | 39.6% |
| 4 | 学歴を取得するため                    | 543   | 21.7% |
| 5 | 友人を得るため                      | 159   | 6.4%  |
| 6 | 自分の好きなこと(課外活動やボランティアなど)をするため | 247   | 9.9%  |
| 7 | 就職に有益であるため                   | 345   | 13.8% |
| 8 | その他                          | 102   | 4.1%  |
| 9 | NA・DK                        | 29    | 1.2%  |
|   | 合計                           | 5,057 | —     |

「2-1.入学の目的(複)」に関して、＜資格や免許を取得するため＞が75.0%で他の項目と比較して突出して高く、学生の「資格や免許」に対する志向の高さを窺うことが出来る。

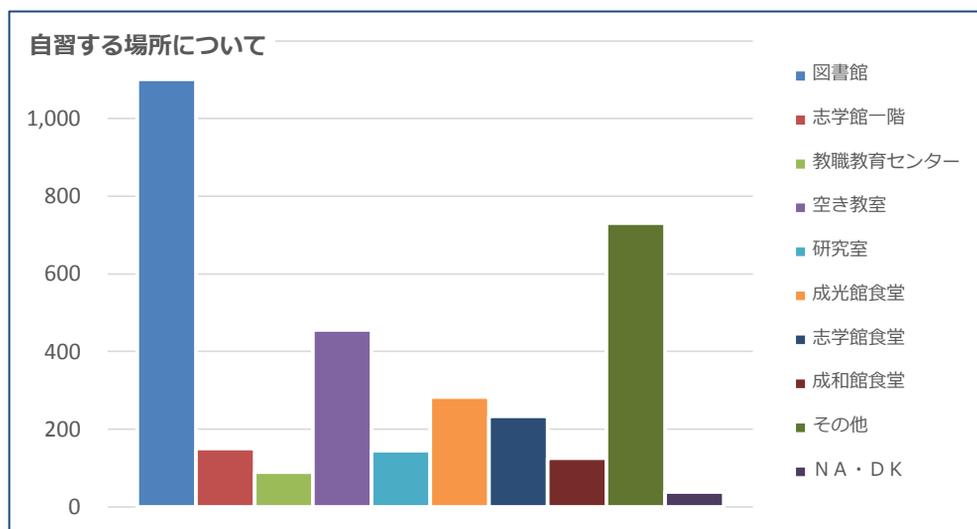


## 2-2 つけない力(複)

|   |            |       |       |
|---|------------|-------|-------|
| 1 | 専門知識や技能    | 1,843 | 73.6% |
| 2 | 語学力        | 469   | 18.7% |
| 3 | 資格取得力      | 1,279 | 51.1% |
| 4 | 情報処理技術     | 269   | 10.7% |
| 5 | コミュニケーション力 | 1,065 | 42.5% |
| 6 | 論理的思考力     | 458   | 18.3% |
| 7 | その他        | 77    | 3.1%  |
| 8 | 特にない       | 62    | 2.5%  |
| 9 | NA・DK      | 31    | 1.2%  |
|   | 合計         | 5,553 | —     |

「2-2. つけない力(複)」に関しては、＜専門知識や技能＞が73.6%＜資格取得力＞が51.1%で、これらの回答は「2-1.」と付随していると考えられる。3位の＜コミュニケーション力＞が42.5%であり、ほとんどの在学生在が電子通信機器を所有し通信を行っている現状においても、他者との対面によるコミュニケーションが円滑にできる能力を必要としているといえる。

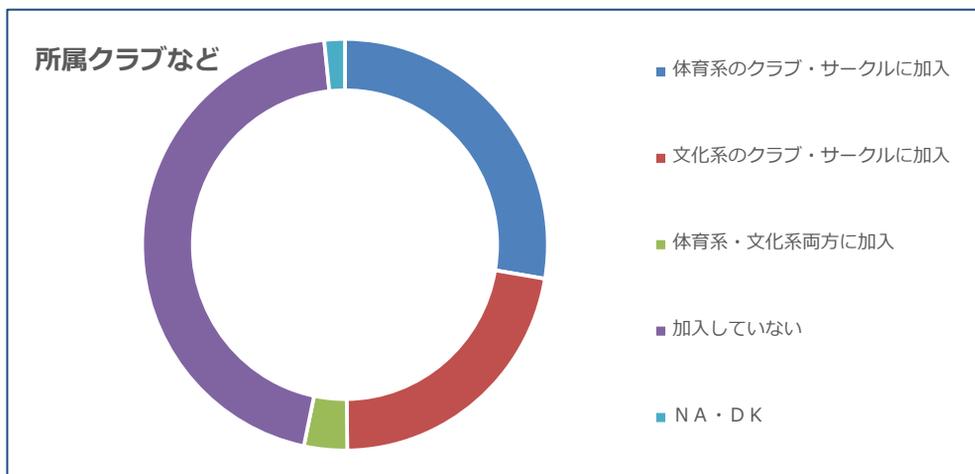
「2-1.」については学生の自由度がかなり反映されたものであると考えられる。それに対して、「2-2.」は、本学が目指す教育を具現化したカリキュラムに近いものである。カリキュラムは先述した通り大学の教育の姿勢の具体化であり、その主体は大学にある。昨今の大学教育においては、学生が学びたいものを科目化する方策も行われている。



## 2-3 自習する場所について(複)

|    |          |       |       |
|----|----------|-------|-------|
| 1  | 図書館      | 1,101 | 44.0% |
| 2  | 志学館一階    | 150   | 6.0%  |
| 3  | 教職教育センター | 89    | 3.6%  |
| 4  | 空き教室     | 456   | 18.2% |
| 5  | 研究室      | 145   | 5.8%  |
| 6  | 成光館食堂    | 283   | 11.3% |
| 7  | 志学館食堂    | 233   | 9.3%  |
| 8  | 成和館食堂    | 126   | 5.0%  |
| 9  | その他      | 731   | 29.2% |
| 10 | NA・DK    | 39    | 1.6%  |
|    | 合計       | 3,353 | —     |

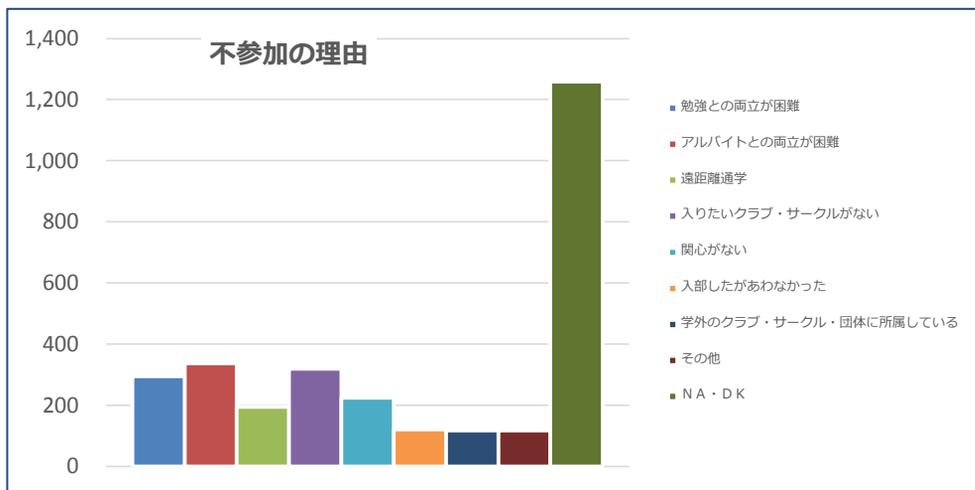
「2-3. 自習する場所について(複)」に関しては、＜図書館＞が44.0%で、2位の＜その他＞の29.2%を大きく引き離しており、他項目に比べて特に高いことがわかった。



## 3-1 所属クラブなど

|   |                 |       |        |
|---|-----------------|-------|--------|
| 1 | 体育系のクラブ・サークルに加入 | 692   | 27.6%  |
| 2 | 文化系のクラブ・サークルに加入 | 555   | 22.2%  |
| 3 | 体育系・文化系両方に加入    | 86    | 3.4%   |
| 4 | 加入していない         | 1,129 | 45.1%  |
| 5 | NA・DK           | 41    | 1.6%   |
|   | 合計              | 2,503 | 100.0% |

「3-1. 所属クラブなど」に関しては、データ上、回答者の53.2%が、＜体育系・文化系のクラブ・サークルに加入＞している。反面、45.1%の回答者が＜加入していない＞と回答している。社会的に学生のコミュニケーション能力の低下を防止するため、クラブ・サークルへの加入が期待されている。

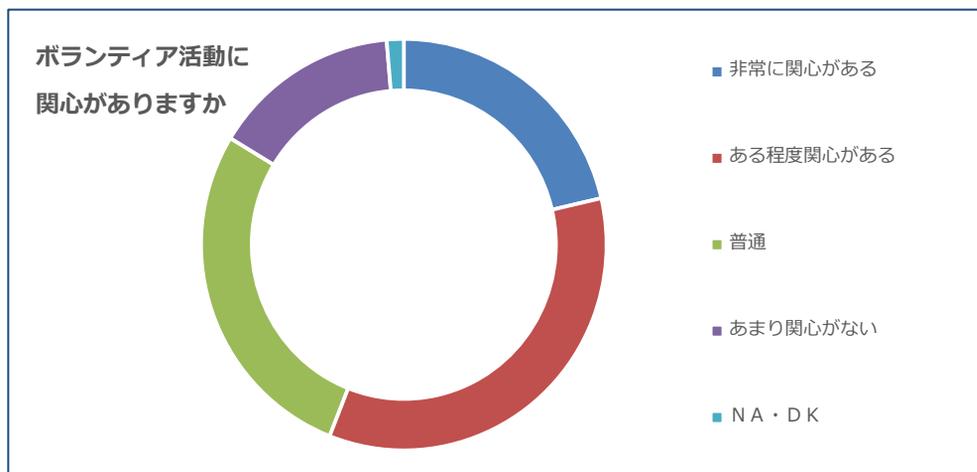


## 3-2 不参加の理由(複)

|   |                       |       |       |
|---|-----------------------|-------|-------|
| 1 | 勉強との両立が困難             | 294   | 11.7% |
| 2 | アルバイトとの両立が困難          | 336   | 13.4% |
| 3 | 遠距離通学                 | 194   | 7.8%  |
| 4 | 入りたいクラブ・サークルがない       | 319   | 12.7% |
| 5 | 関心がない                 | 224   | 8.9%  |
| 6 | 入部したがあわなかった           | 120   | 4.8%  |
| 7 | 学外のクラブ・サークル・団体に所属している | 116   | 4.6%  |
| 8 | その他                   | 116   | 4.6%  |
| 9 | NA・DK                 | 1,259 | 50.3% |
|   | 合計                    | 2,978 | —     |

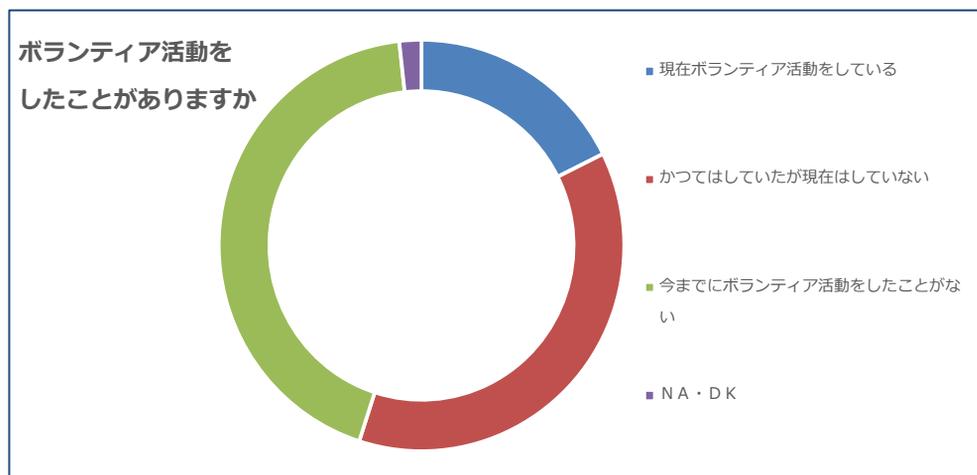
不参加の在学生の「3-2. 不参加の理由(複)」については、表に示された通りである。「アルバイトとの両立が困難」の回答が最も多く、「遠距離通学」「勉強との両立が困難」を合わせると32.9%となり、1/3を占めている。経済的理由、時間的な問題が不参加の理由としてあげられていることは非常に気掛かりである。

## 4 ボランティアについて



### 4-1 ボランティア活動に関心がありますか

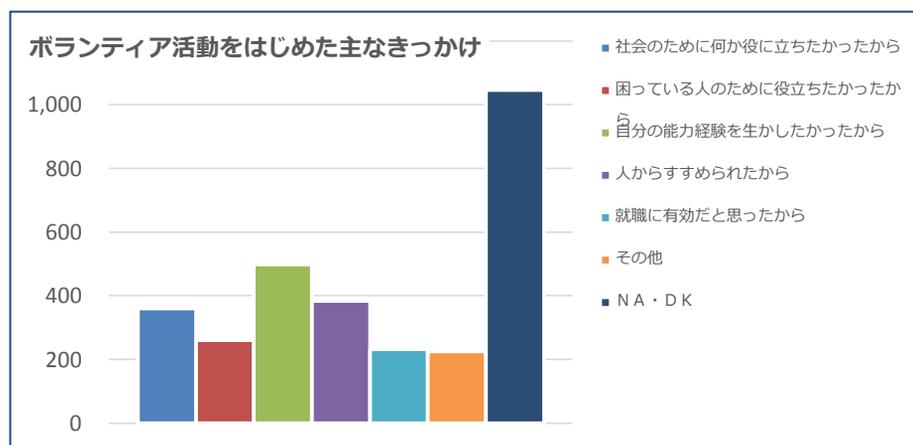
|   |           |       |        |
|---|-----------|-------|--------|
| 1 | 非常に興味がある  | 535   | 21.4%  |
| 2 | ある程度関心がある | 866   | 34.6%  |
| 3 | 普通        | 693   | 27.7%  |
| 4 | あまり関心がない  | 375   | 15.0%  |
| 5 | NA・DK     | 34    | 1.4%   |
|   | 合計        | 2,503 | 100.0% |



### 4-2 ボランティア活動をしたことがありますか

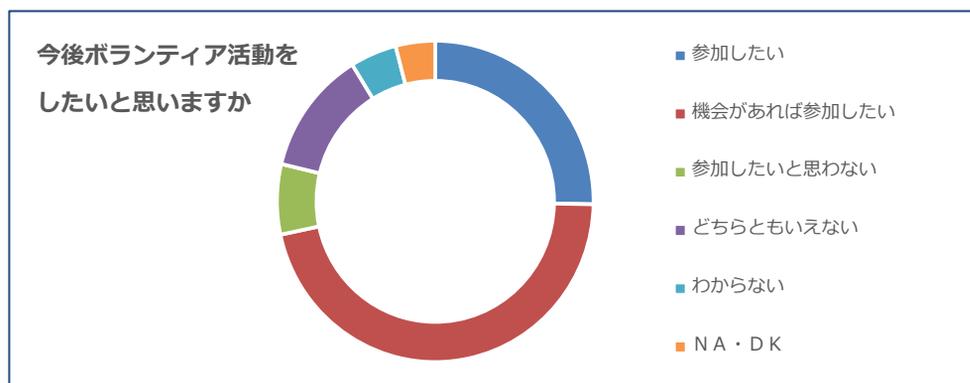
|   |                      |       |        |
|---|----------------------|-------|--------|
| 1 | 現在ボランティア活動をしている      | 442   | 17.7%  |
| 2 | かつてはしていたが現在はしていない    | 934   | 37.3%  |
| 3 | 今までにボランティア活動をしたことがない | 1,083 | 43.3%  |
| 4 | NA・DK                | 44    | 1.8%   |
|   | 合計                   | 2,503 | 100.0% |

## 4 ボランティアについて



### 4-3 ボランティア活動をはじめた主なきっかけ(3つまで)

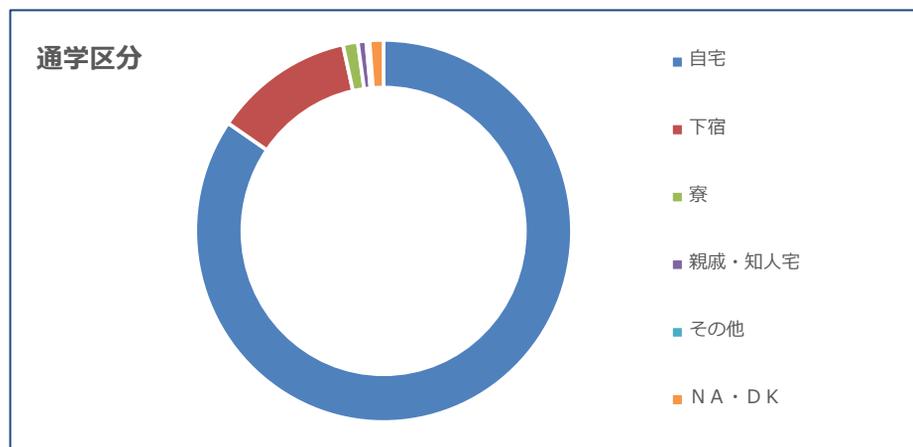
|   |                     |       |       |
|---|---------------------|-------|-------|
| 1 | 社会のために何か役に立ちたかったから  | 360   | 14.4% |
| 2 | 困っている人のために役立ちたかったから | 260   | 10.4% |
| 3 | 自分の能力経験を生かしたかったから   | 498   | 19.9% |
| 4 | 人からすすめられたから         | 384   | 15.3% |
| 5 | 就職に有効だと思ったから        | 232   | 9.3%  |
| 6 | その他                 | 225   | 9.0%  |
| 7 | NA・DK               | 1,045 | 41.7% |
|   | 合計                  | 3,004 | —     |



### 4-4 今後ボランティア活動をしたしたいと思いますか

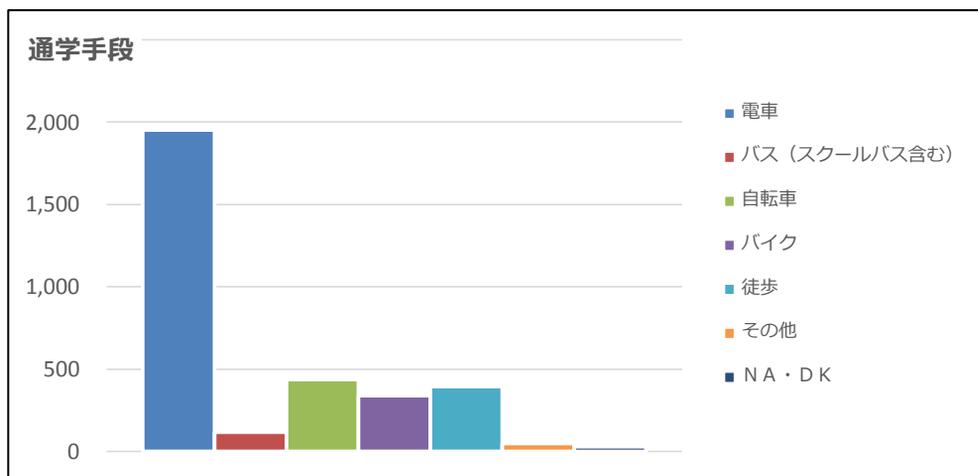
|   |             |       |        |
|---|-------------|-------|--------|
| 1 | 参加したい       | 633   | 25.3%  |
| 2 | 機会があれば参加したい | 1,161 | 46.4%  |
| 3 | 参加したいと思わない  | 177   | 7.1%   |
| 4 | どちらともいえない   | 312   | 12.5%  |
| 5 | わからない       | 119   | 4.8%   |
| 6 | NA・DK       | 101   | 4.0%   |
|   | 合計          | 2,503 | 100.0% |

「4. ボランティアについて」に関しては、「4-1. ボランティア活動に関心がありますか」「4-2. ボランティア活動をしたことがありますか」「4-3. ボランティア活動をはじめた主なきっかけ(3つまで)」「4-4. 今後ボランティア活動をしたいと思えますか」の4つの設問で構成されている。「4-2. ボランティア活動をしたことがありますか」において、<現在ボランティア活動をしている>が17.7%で、<かつてはしていたが現在はしていない>が37.3%で、この2つの和は55%となる。また、「4-4. 今後ボランティア活動をしたいと思えますか」において、<参加したい>が25.3%で、<機会があれば参加したい>が46.4%で、その合計は71.7%となる。この2つの数値から、まだまだ多くの学生がボランティア活動に関与しようとする状況が窺い知れる。



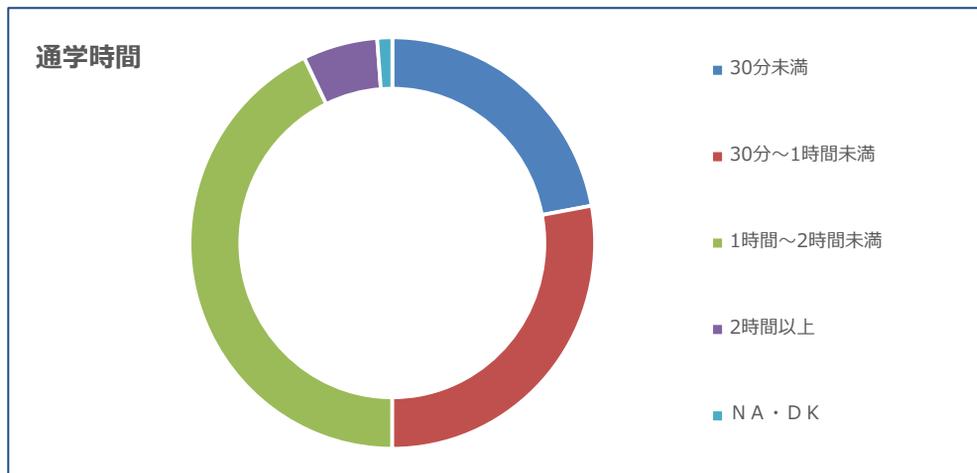
5-1 通学区分

|   |        |       |        |
|---|--------|-------|--------|
| 1 | 自宅     | 2,116 | 84.5%  |
| 2 | 下宿     | 300   | 12.0%  |
| 3 | 寮      | 32    | 1.3%   |
| 4 | 親戚・知人宅 | 18    | 0.7%   |
| 5 | その他    | 7     | 0.3%   |
| 6 | NA・DK  | 30    | 1.2%   |
|   | 合計     | 2,503 | 100.0% |



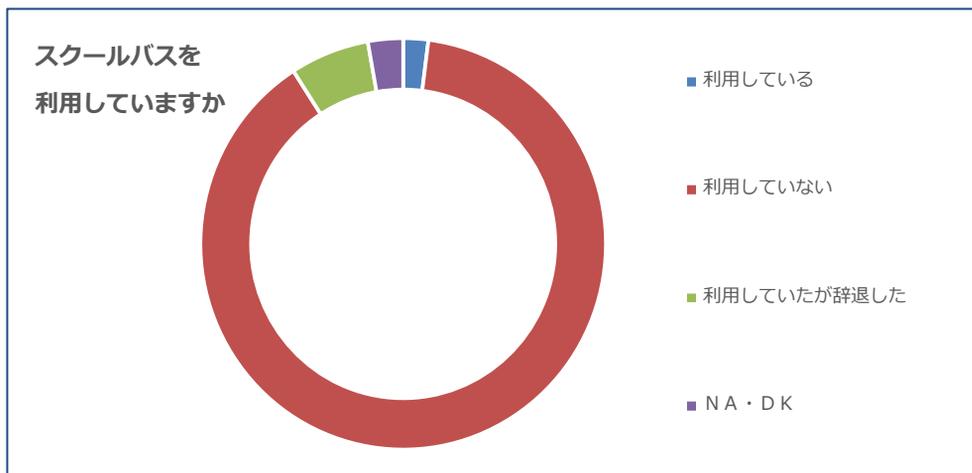
5-2 通学手段(複)

|   |              |       |       |
|---|--------------|-------|-------|
| 1 | 電車           | 1,951 | 77.9% |
| 2 | バス(スクールバス含む) | 116   | 4.6%  |
| 3 | 自転車          | 436   | 17.4% |
| 4 | バイク          | 339   | 13.5% |
| 5 | 徒歩           | 393   | 15.7% |
| 6 | その他          | 48    | 1.9%  |
| 7 | NA・DK        | 28    | 1.1%  |
|   | 合計           | 3,311 | —     |



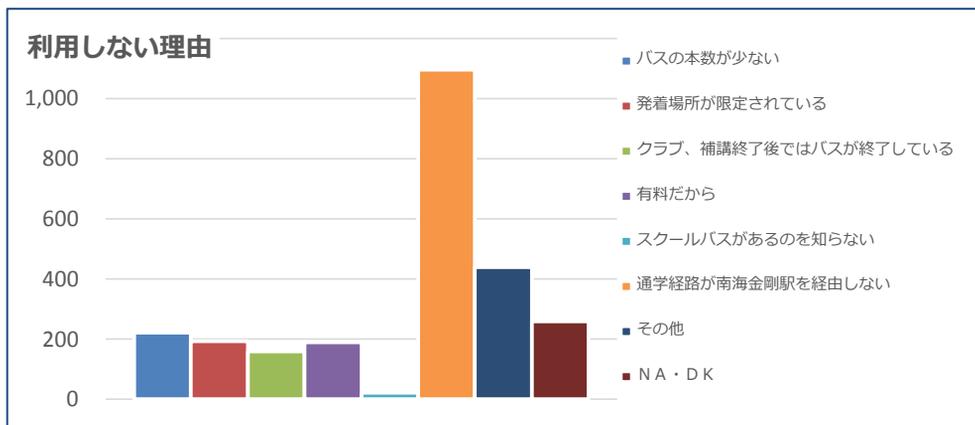
## 5-3 通学時間

|   |           |       |        |
|---|-----------|-------|--------|
| 1 | 30分未満     | 553   | 22.1%  |
| 2 | 30分～1時間未満 | 699   | 27.9%  |
| 3 | 1時間～2時間未満 | 1,072 | 42.8%  |
| 4 | 2時間以上     | 149   | 6.0%   |
| 5 | NA・DK     | 30    | 1.2%   |
|   | 合計        | 2,503 | 100.0% |



## 5-4 スクールバスを利用していますか

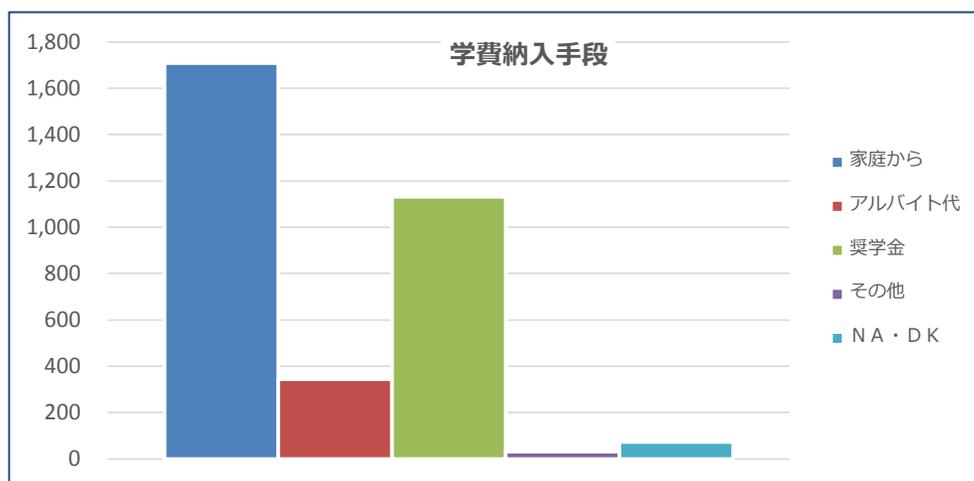
|   |             |       |        |
|---|-------------|-------|--------|
| 1 | 利用している      | 50    | 2.0%   |
| 2 | 利用していない     | 2,225 | 88.9%  |
| 3 | 利用していたが辞退した | 158   | 6.3%   |
| 4 | NA・DK       | 70    | 2.8%   |
|   | 合計          | 2,503 | 100.0% |



5-5 上記で2と3に回答していた人について(複)

|   |                      |       |       |
|---|----------------------|-------|-------|
| 1 | バスの本数が少ない            | 222   | 8.9%  |
| 2 | 発着場所が限定されている         | 192   | 7.7%  |
| 3 | クラブ、補講終了後ではバスが終了している | 159   | 6.4%  |
| 4 | 有料だから                | 190   | 7.6%  |
| 5 | スクールバスがあるの知らない       | 21    | 0.8%  |
| 6 | 通学経路が南海金剛駅を經由しない     | 1,095 | 43.7% |
| 7 | その他                  | 439   | 17.5% |
| 8 | NA・DK                | 258   | 10.3% |
|   | 合計                   | 2,576 | —     |

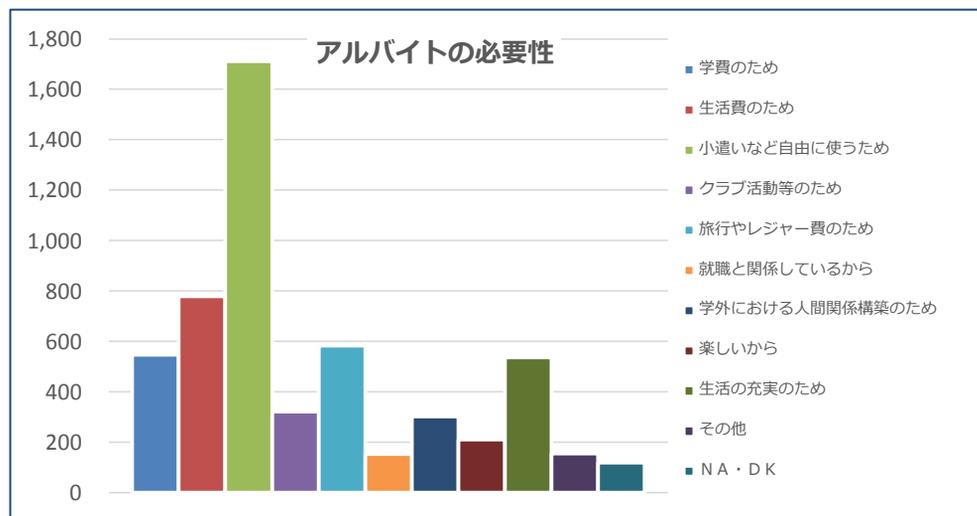
「5-1. 通学区分」に関しては、〈自宅〉が84.5%で、非常に高く、そのため「5-2. 通学手段(複)」に関しても公共交通機関である〈電車〉の利用率が77.9%という数値を示している。「5-3. 通学時間」については〈1時間～2時間未満〉が42.8%とかなり高い割合を占めている。「5-4. スクールバスを利用していますか」に関しては、〈利用していない〉が88.9%と非常に高い数値を示している。「5-5. 上記で2と3に回答していた人について」に関しては、〈通学経路が南海金剛駅を經由しない〉が最も多く、約半数の43.7%という数値を示している。現行のスクールバスの必要性や経路の見直しも含め検討する必要がある。



## 6-1 学費納入手段(複)

|   |        |       |       |
|---|--------|-------|-------|
| 1 | 家庭から   | 1,708 | 68.2% |
| 2 | アルバイト代 | 345   | 13.8% |
| 3 | 奨学金    | 1,132 | 45.2% |
| 4 | その他    | 32    | 1.3%  |
| 5 | NA・DK  | 73    | 2.9%  |
|   | 合計     | 3,290 | —     |

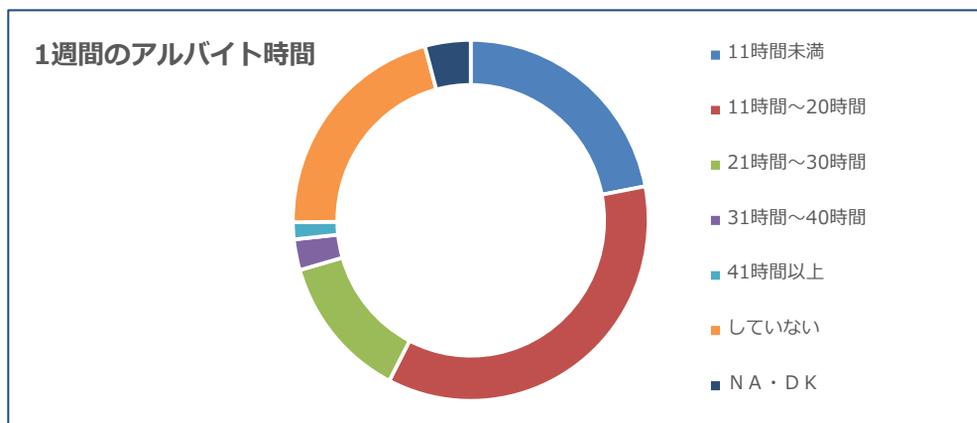
「6-1. 学費納入の手段(複)」に関しては、〈家庭から〉が68.2%、〈奨学金〉が45.2%という高い数値を示している。この設問は、複数回答であるため、如何程の割合か判断することはできないが、この2つの項目を併せた学生の割合が相当数を占めるのではないかと考えられる。



6-2 アルバイトの必要性(複)

|    |                 |       |       |
|----|-----------------|-------|-------|
| 1  | 学費のため           | 547   | 21.9% |
| 2  | 生活費のため          | 780   | 31.2% |
| 3  | 小遣いなど自由に使うため    | 1,712 | 68.4% |
| 4  | クラブ活動等のため       | 321   | 12.8% |
| 5  | 旅行やレジャー費のため     | 583   | 23.3% |
| 6  | 就職と関係しているから     | 153   | 6.1%  |
| 7  | 学外における人間関係構築のため | 303   | 12.1% |
| 8  | 楽しいから           | 211   | 8.4%  |
| 9  | 生活の充実のため        | 537   | 21.5% |
| 10 | その他             | 155   | 6.2%  |
| 11 | NA・DK           | 120   | 4.8%  |
|    | 合計              | 5,422 | —     |

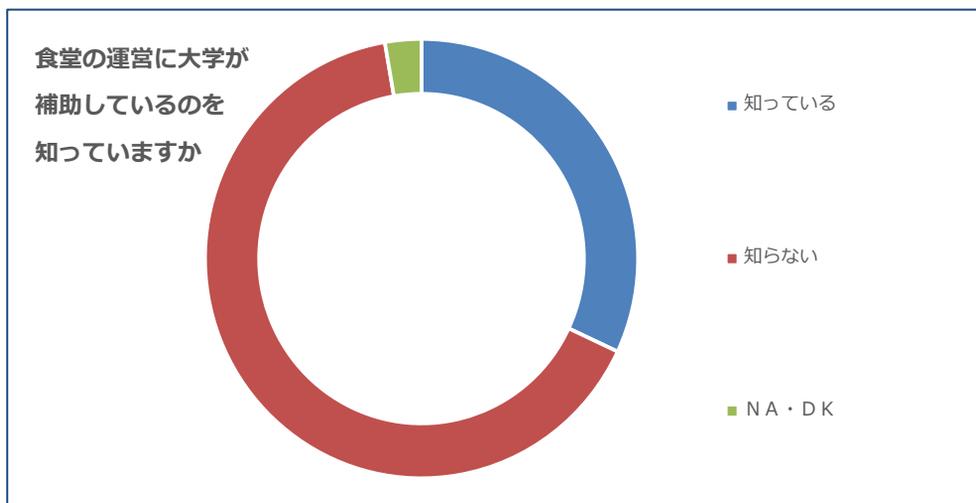
「6-2. アルバイトの必要性(複)」に関して、〈学費のため〉が21.9%と5分の1の数値ではあるが、5人に1人はアルバイトを行わなければ、学費納入に支障をきたす状況が考えられる。反面、〈小遣いなど自由に使うため〉が68.4%で、〈旅行やレジャー費のため〉が23.3%と合計すると91.7%という高い数値を示すなど、アルバイトへの傾倒は学業に支障をきたす可能性があり、注意が必要と考えられる。



6-3 1週間のアルバイト時間

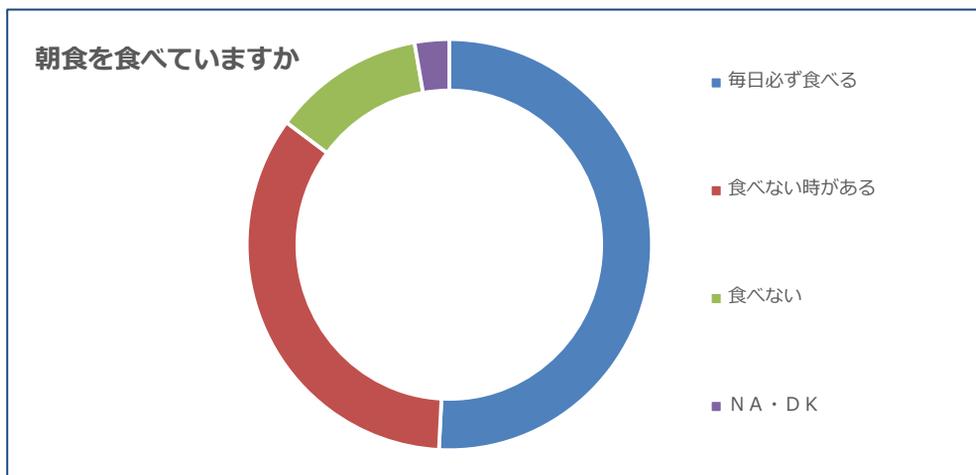
|   |           |       |        |
|---|-----------|-------|--------|
| 1 | 11時間未満    | 550   | 22.0%  |
| 2 | 11時間～20時間 | 891   | 35.6%  |
| 3 | 21時間～30時間 | 325   | 13.0%  |
| 4 | 31時間～40時間 | 69    | 2.8%   |
| 5 | 41時間以上    | 38    | 1.5%   |
| 6 | していない     | 526   | 21.0%  |
| 7 | NA・DK     | 104   | 4.2%   |
|   | 合計        | 2,503 | 100.0% |

「6-3. 1週間のアルバイト時間」に関しては、＜11時間未満＞と＜11時間～20時間＞の合計が57.6%となる。大学生時代にアルバイトを経験することにはなんらかの意義がある。しかし、21時間超の学生が17.3%と多数みられる。学業への支障が懸念される。



7-1 食堂の運営に大学が補助しているのを知っていますか

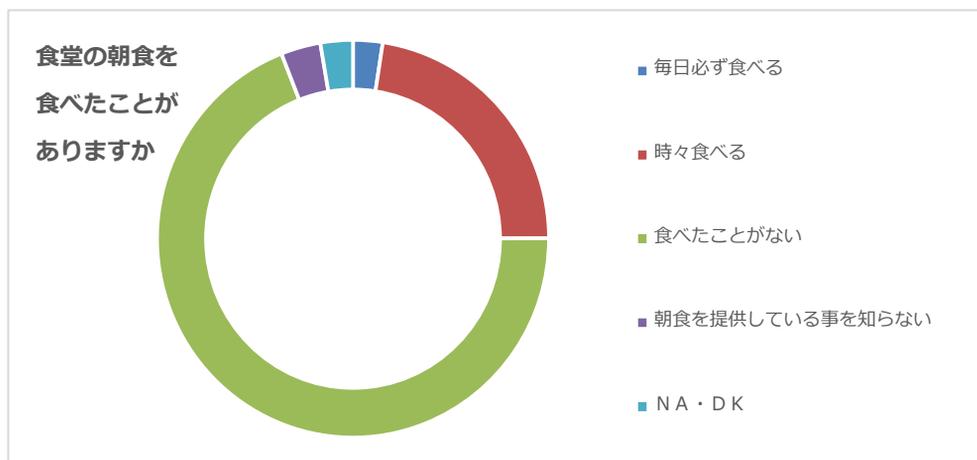
|   |       |       |        |
|---|-------|-------|--------|
| 1 | 知っている | 800   | 32.0%  |
| 2 | 知らない  | 1,635 | 65.3%  |
| 3 | NA・DK | 68    | 2.7%   |
|   | 合計    | 2,503 | 100.0% |



7-2 朝食を食べていますか

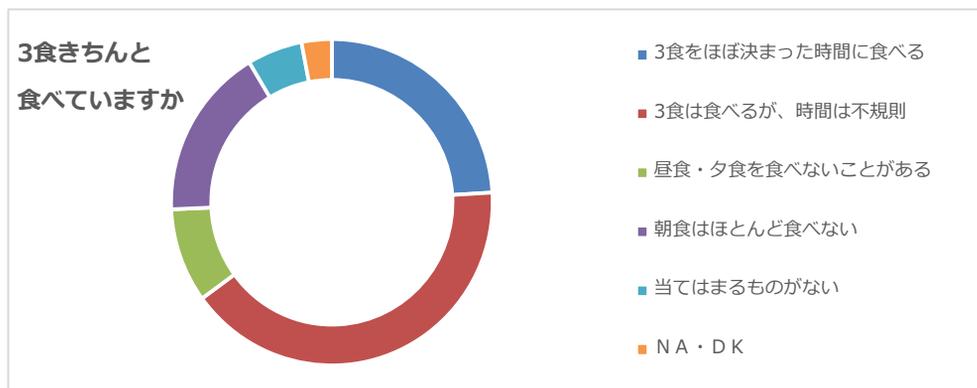
|   |          |       |        |
|---|----------|-------|--------|
| 1 | 毎日必ず食べる  | 1,272 | 50.8%  |
| 2 | 食べない時がある | 859   | 34.3%  |
| 3 | 食べない     | 303   | 12.1%  |
| 4 | NA・DK    | 69    | 2.8%   |
|   | 合計       | 2,503 | 100.0% |

## 7 食生活について



7-3 食堂の朝食を食べたことがありますか

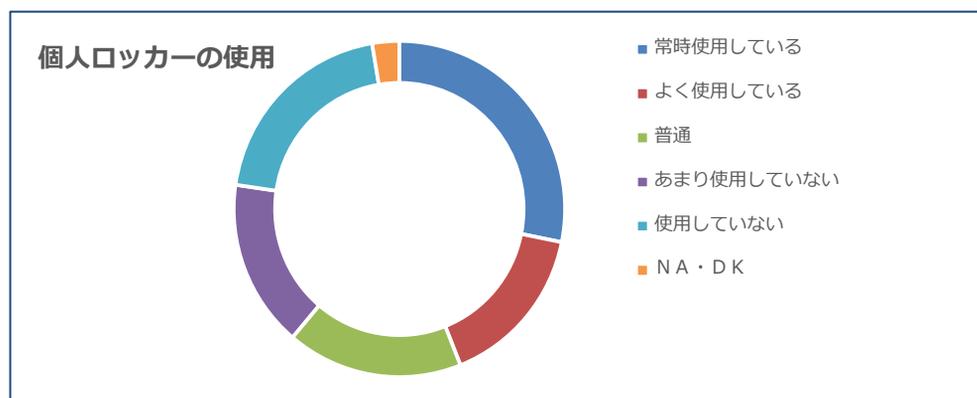
|   |                 |       |        |
|---|-----------------|-------|--------|
| 1 | 毎日必ず食べる         | 61    | 2.4%   |
| 2 | 時々食べる           | 564   | 22.5%  |
| 3 | 食べたことがない        | 1,729 | 69.1%  |
| 4 | 朝食を提供している事を知らない | 82    | 3.3%   |
| 5 | NA・DK           | 67    | 2.7%   |
|   | 合計              | 2,503 | 100.0% |



7-4 3食きちんと食べていますか

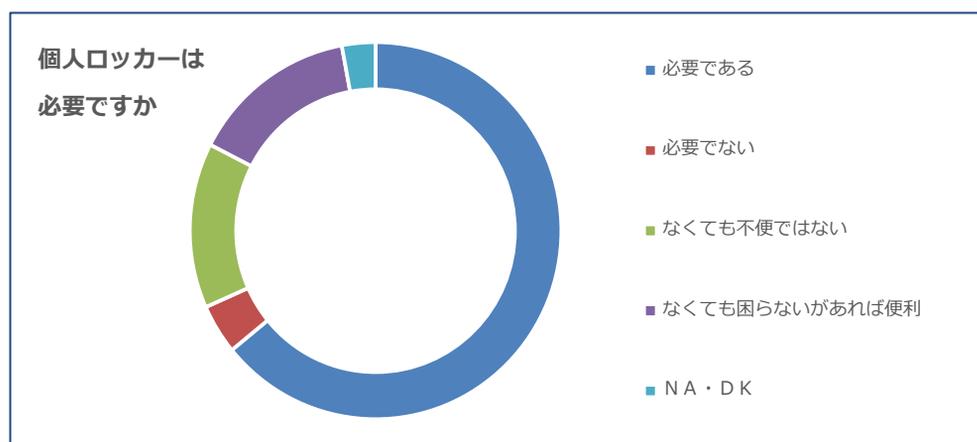
|   |                 |       |        |
|---|-----------------|-------|--------|
| 1 | 3食をほぼ決まった時間に食べる | 602   | 24.1%  |
| 2 | 3食は食べるが、時間は不規則  | 1,024 | 40.9%  |
| 3 | 昼食・夕食を食べないことがある | 234   | 9.3%   |
| 4 | 朝食はほとんど食べない     | 428   | 17.1%  |
| 5 | 当てはまるものがない      | 139   | 5.6%   |
| 6 | NA・DK           | 76    | 3.0%   |
|   | 合計              | 2,503 | 100.0% |

- 「7-1. 食堂の運営に大学が補助しているのを知っていますか」に関しては、32%が「知っている」、65.3%が「知らない」と回答している。この数値は「7-3. 食堂の朝食を食べたことがありますか」の「食べたことがない」の約70%と偶然にも合致している。この2つの項目における「知らない」と「食べたことがない」の回答者は食堂の運営についてあまり関心がないのかもしれないと考えられる。「7-2. 朝食を食べていますか」と「7-4. 3食きちんと食べていますか」の2つの設問に関しては、意外に高い数値を示しており、食に関する学生の意識はかなり高いものの、朝食を食べない学生も無視できない。年に1, 2度食育に関する重要性を啓発することも必要と考えられる。今後、取り組んで行く課題であり、学生生活を検討する委員会の指針の1つではないかと考える。



8-1 個人ロッカーの使用

|   |            |       |        |
|---|------------|-------|--------|
| 1 | 常時使用している   | 705   | 28.2%  |
| 2 | よく使用している   | 396   | 15.8%  |
| 3 | 普通         | 430   | 17.2%  |
| 4 | あまり使用していない | 404   | 16.1%  |
| 5 | 使用していない    | 502   | 20.1%  |
| 6 | NA・DK      | 66    | 2.6%   |
|   | 合計         | 2,503 | 100.0% |



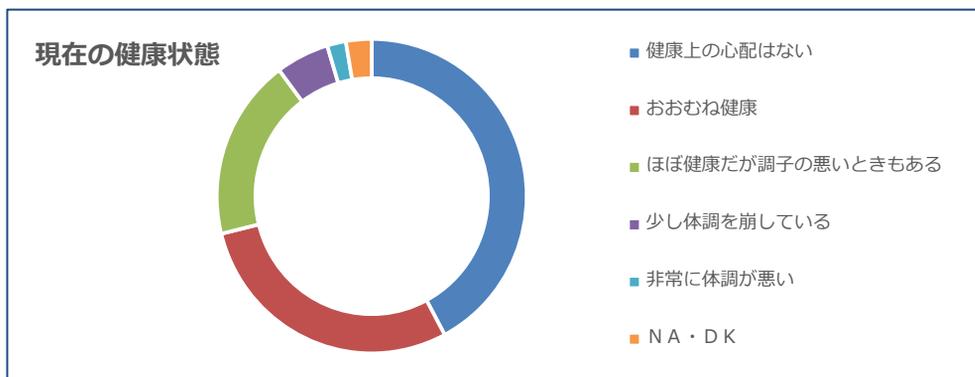
8-2 個人ロッカーは必要ですか

|   |                |       |        |
|---|----------------|-------|--------|
| 1 | 必要である          | 1,604 | 64.1%  |
| 2 | 必要でない          | 107   | 4.3%   |
| 3 | なくても不便ではない     | 355   | 14.2%  |
| 4 | なくても困らないがあれば便利 | 364   | 14.5%  |
| 5 | NA・DK          | 73    | 2.9%   |
|   | 合計             | 2,503 | 100.0% |

「8. 個人ロッカーについて」に関しては、「8-1. 個人ロッカーの使用」「8-2. 個人ロッカーは必要ですか」の2つの設問で構成されている。「8-1」については、実際の使用状況を、「8-2」についてはその意識についてリサーチしたものである。

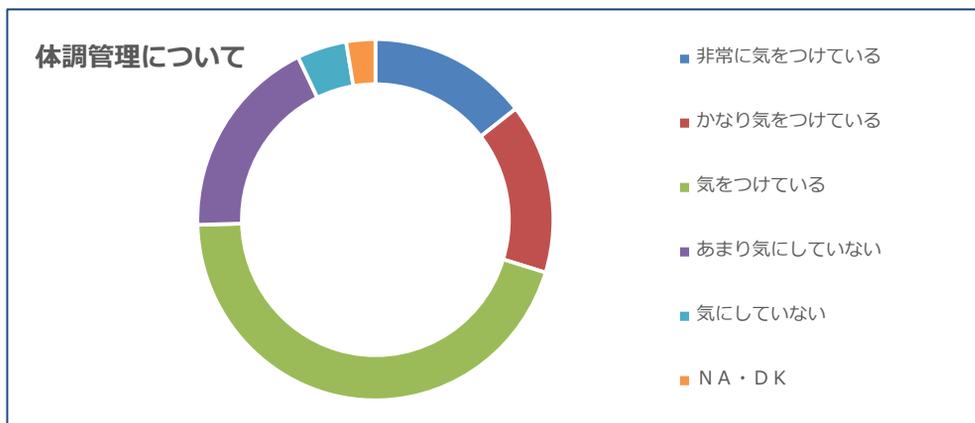
「8-1. 個人ロッカーの使用」に関して、実際に使用していると考えられるものは、＜常時使用している＞＜よく使用している＞＜普通＞の回答者で、その割合の合計は、61.2%である。「8-2. 個人ロッカーは必要ですか」については、＜必要である＞が64.1%で、ほぼ実際の使用状況と使用についての意識が合致する状況にある。この調査から検討した場合、現状において、個人ロッカーに関してはその存続が望まれていると言えよう。

## 9 健康状態や悩みについて



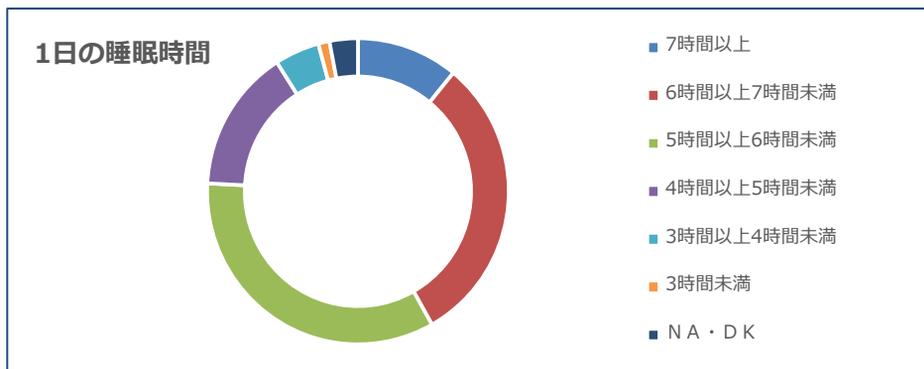
9-1 現在の健康状態

|   |                  |       |        |
|---|------------------|-------|--------|
| 1 | 健康上の心配はない        | 1,056 | 42.2%  |
| 2 | おおむね健康           | 725   | 29.0%  |
| 3 | ほぼ健康だが調子の悪いときもある | 467   | 18.7%  |
| 4 | 少し体調を崩している       | 139   | 5.6%   |
| 5 | 非常に体調が悪い         | 49    | 2.0%   |
| 6 | NA・DK            | 67    | 2.7%   |
|   | 合計               | 2,503 | 100.0% |



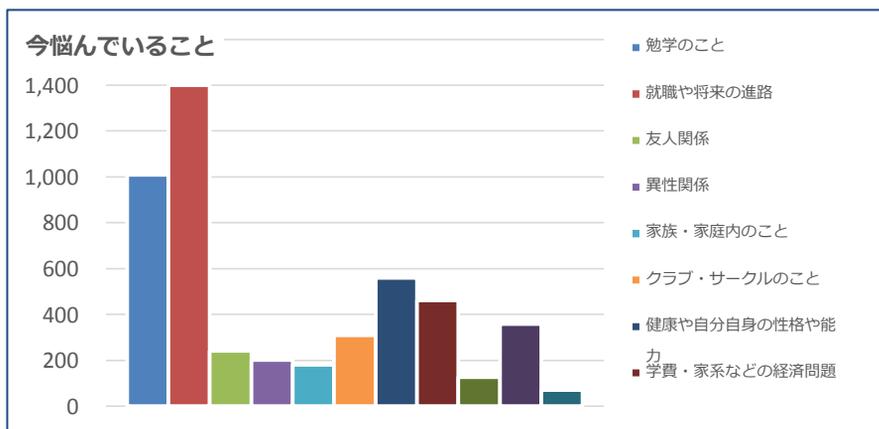
9-2 体調管理について

|   |            |       |        |
|---|------------|-------|--------|
| 1 | 非常に気をつけている | 362   | 14.5%  |
| 2 | かなり気をつけている | 382   | 15.3%  |
| 3 | 気をつけている    | 1,122 | 44.8%  |
| 4 | あまり気にしていない | 458   | 18.3%  |
| 5 | 気にしていない    | 113   | 4.5%   |
| 6 | NA・DK      | 66    | 2.6%   |
|   | 合計         | 2,503 | 100.0% |



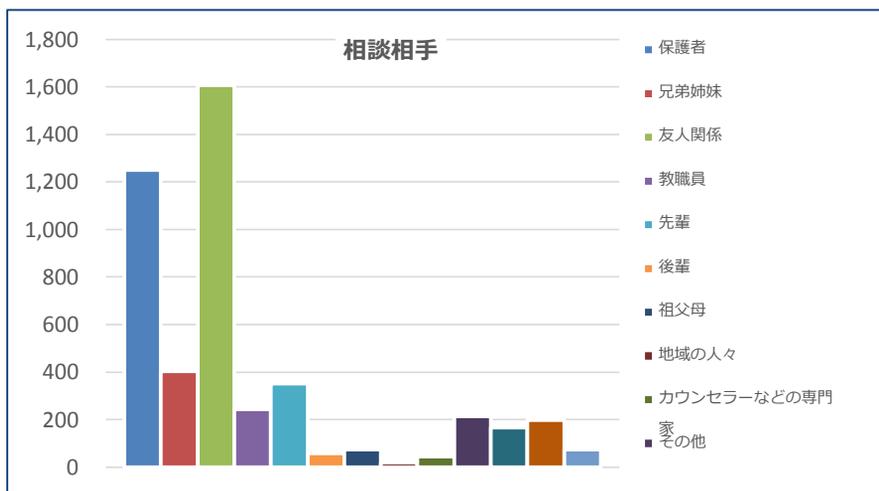
9-3 1日の睡眠時間

|   |            |       |        |
|---|------------|-------|--------|
| 1 | 7時間以上      | 273   | 10.9%  |
| 2 | 6時間以上7時間未満 | 774   | 30.9%  |
| 3 | 5時間以上6時間未満 | 851   | 34.0%  |
| 4 | 4時間以上5時間未満 | 379   | 15.1%  |
| 5 | 3時間以上4時間未満 | 120   | 4.8%   |
| 6 | 3時間未満      | 30    | 1.2%   |
| 7 | NA・DK      | 76    | 3.0%   |
|   | 合計         | 2,503 | 100.0% |



9-4 今悩んでいること(複)

|    |               |       |       |
|----|---------------|-------|-------|
| 1  | 勉強のこと         | 1,009 | 40.3% |
| 2  | 就職や将来の進路      | 1,400 | 55.9% |
| 3  | 友人関係          | 241   | 9.6%  |
| 4  | 異性関係          | 203   | 8.1%  |
| 5  | 家族・家庭内のこと     | 182   | 7.3%  |
| 6  | クラブ・サークルのこと   | 309   | 12.3% |
| 7  | 健康や自分自身の性格や能力 | 560   | 22.4% |
| 8  | 学費・家計などの経済問題  | 461   | 18.4% |
| 9  | その他           | 127   | 5.1%  |
| 10 | 特にない          | 358   | 14.3% |
| 11 | NA・DK         | 70    | 2.8%  |
|    | 合計            | 4,920 | —     |



9-5 相談相手(複)

|    |              |       |       |
|----|--------------|-------|-------|
| 1  | 保護者          | 1,251 | 50.0% |
| 2  | 兄弟姉妹         | 403   | 16.1% |
| 3  | 友人関係         | 1,607 | 64.2% |
| 4  | 教職員          | 244   | 9.7%  |
| 5  | 先輩           | 351   | 14.0% |
| 6  | 後輩           | 58    | 2.3%  |
| 7  | 祖父母          | 74    | 3.0%  |
| 8  | 地域の人々        | 20    | 0.8%  |
| 9  | カウンセラーなどの専門家 | 45    | 1.8%  |
| 10 | その他          | 214   | 8.5%  |
| 11 | 相談する人はいない    | 167   | 6.7%  |
| 12 | 相談したくない      | 199   | 8.0%  |
| 13 | NA・DK        | 74    | 3.0%  |
|    | 合計           | 4,707 | —     |

「9-1.現在の健康状態」「9-2. 体調管理について」「9-3. 1日の睡眠時間について」の3設問に関しては、概ね似通った数値が出ていると考えられる。「9-4. 今悩んでいること(複)」に関しては、＜就職や将来の進路＞が55.9%と学生の中で大きな問題であると考えられ、これからも就職指導については、学生の大きな期待を担うこととなるであろう。「9-5. 相談相手」に関しては、＜保護者＞が50.0%で、＜友人関係＞が64.2%と他のものと比較してもかなり高い数値を示している。それに対して大学関係等の＜教職員＞が9.7%で、＜カウンセラーなどの専門家＞1.8%という低い数値を示している。この要因に関して、この二者と相談することを遠慮しているのか、あるいは相談者として認識度が低いのかどちらかではないかと考えられるが、いずれにしてもこの二者は相談者として適切であるとする意識を在学生に萌芽させる施策が必要と考えられる。